



くも合戦

広報

かじき

人口・世帯の動き
(平成元年11月1日現在)

総人口23,851人(+11)	出生 21人
男 11,229人(+2)	死亡 16人
女 12,622人(+9)	転入 103人
世帯数 8,299 (+9)	転出 97人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長

危険から身を守るのは

“あなた自身”です

夕暮れ迫る町、家路を急ぐ
車や人の前や横を、突然走り
抜ける“黒い影”……………。

映画の一シーンではありません

せん。“無灯火の自転車”の
集団です。

あなたも、思わず「ひやつ」とした経験はありませんか。

また、スイスイと右側を走る自転車や単車、合図もせず
に右に左に曲がる自転車、歩道橋を我がもの顔に走る自転

車。町中に“無灯火”の自転車の多いこと多いこと……………。

冬は、服装も黒っぽくなりますます車などから見えにくくなります。危険から身を守るのは“あなた自身”です。

事故が多くなる季節。一人一人がルールを守りましょう。



加治木の恥部

社会生活の最低の『モラル』が

守れない『国民』とは恥ずかしい限りです。

これで“徳育と文化”の香り高い町といえましょうか。

“交通標識” あなたはいくつ守っていますか？

今月のページ

平成元年

12

月号

▷『ふるさと便』会員募集中…2～3▷ 上半期の町の
家計簿を公表、“東京加治会総会”…4～5▷ 議会報
告、椋嶋十さんをしのんで…6▷ 文化祭、農業祭7▷
▷ まちの話題…8～9▷ カメラ・ルポ…10～11▷
▷ 受賞おめでとう“秋の叙勲”、龍門滝を全国に売り出
そう…12～13▷ ほっと情報…14▷ 文芸、日曜
在宅医…15▷ おしらせ…16▷

なつかしい ふるさとの

味と香りを お届けします

会員募集の御案内

ごあいさつ

「ふるさとに思いをはせる、あなた」のお手伝い
 できたら……。『加治木町ふるさと便』が生まれて
 二年目を迎えました。

「歴史と文化の薫る町」

加治木町は、椋鳩十文学記念館の建設や、龍門滝を
 核とした自然の開発など、今、21世紀へ大きく羽ばた
 こうとしています。

ふるさとから、今年もなつかしい「味と香り」を
 お届けします。

まごころをこめて選んだ品は、きつとあなたに
 「ふるさとの思い出」を伝えることでしょう。
 御利用を心からお待ちしています。

会 長 (加治木町長) 宇都宮 明人

6月



- スイートコーン
- キャロットジャム
- 醤油 (さしみ)
- (?) …お楽しみに…

(広報紙)

12月



- 龍門司焼 (黒じょか)
- さつまあげ
- 町の特産品…お楽しみに…
- かぼちゃ
- そばの粉
- 加治木まんじゅう

(広報紙)



- 太鼓踊り………
 8月16日、仮屋馬場などで
 勇壮に踊られます。



- 龍門滝………
 高さ約46m、幅約43m、2基の照明に照
 らされ浮かび上がる滝の姿は壮観です。

時期により、多少内容が変わることもありますので御了承下さい。

加治木町ふるさと便友の会

〈事務局〉〒899-52 鹿児島県始良郡加治木町本町176
 加治木郵便局内 ☎0995-62-2413



加治木町から くも合戦の町

●クモ合戦……6月の第3日曜日、福祉センターで行われます。

会費 年間 15,000円

(ひと月分は各4,000円です。)

申し込み期間 元年12月～2年1月末まで

発送 年4回

お申し込み方法

町内の方は、会費15,000円を、
「受取人及び差出人の住所・氏名」に添えて、次の
ところにお申し込みください。

- 加治木町役場経済課
- 加治木町農業協同組合
- 加治木町商工会
- 錦海漁業協同組合
- 加治木郵便局

町外の方は、会費15,000円を、
同封の振替用紙に「受
取人及び差出人の住所・氏
名」を記入し、お近くの郵便
局で振り込んでください。

〔郵便振替口座 鹿児島3-666〕

発送月によって受取人を変えら
れてもかまいません。

その場合、お申し込みの際、
月毎に「受取人の住所・氏名」
を御記入ください。



3月



- ハウストマト
- 生海苔
- ふくれ菓子
- 干物(魚)
- 町の特産品…お楽しみに…
- 加治木まんじゅう

(広報紙)

9月



- からいも
- りんご
- 栗
- カットわかめ
- 醤油の実

(広報紙)

◎生産者の御協力により、卸値程度で詰め合わせしました。

《主 催》加 治 木 町 役 場・加治木町農業協同組合
加 治 木 町 商 工 会・錦海漁業協同組合
加治木町観光協会・加 治 木 郵 便 局

元年度(4月～9月)わが町の家計簿公表

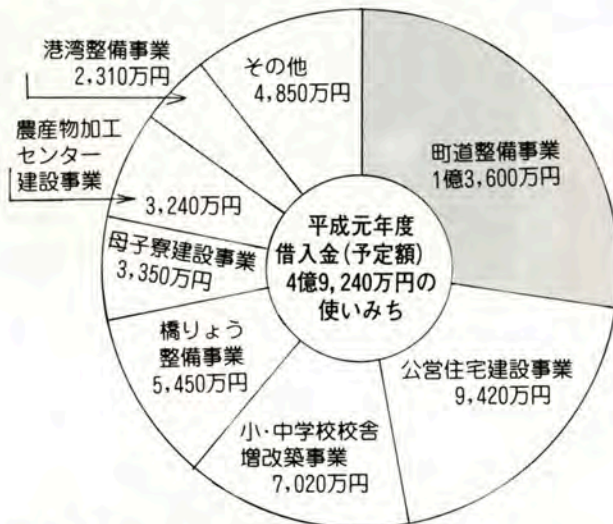
町民1人が背負っている町の借金 18万3,576円

町民1人が納める町の税金 7万1,759円

町民1人に使われる町のお金 22万3,818円

(住民基本台帳人口23,222人で割ったもの)

町の借金は42億6,300万1千円(元年度未残高見込み)



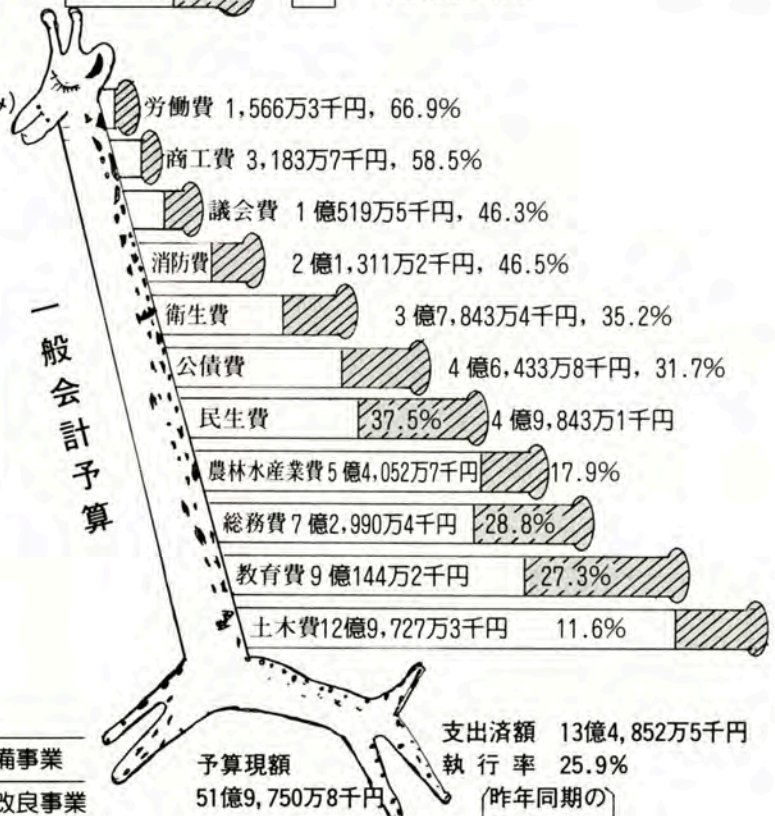
元年度中の主な建設事業

▽特定交通安全施設整備事業 3,700万円 ▽緊急地方道路整備事業 3億1,400万円 ▽橋りょう整備事業1億4,038万円 ▽一般町道改良事業 1億3,232万円 ▽町営住宅建替事業2億9,718万円 ▽永原小学校校舎改築事業1億439万円 ▽加治木中学校校舎増築事業 4,377万円 ▽農産物加工センター建設事業 9,102万円 ▽母子寮建設事業 8,811万円 ▽棕鳩十文学記念館建設事業2億1,517万円 ▽公園整備事業 2,702万円

元年度4月～9月に使ったお金

(9月30日現在)

予算現額 執行率



予算現額

51億9,750万8千円

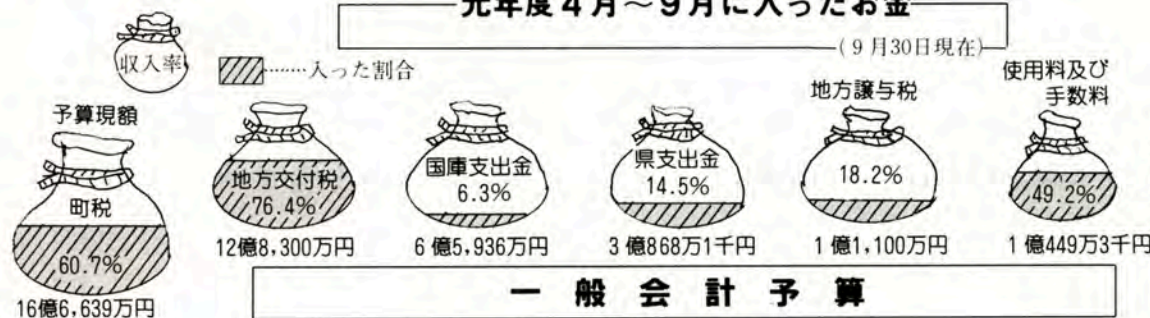
支出済額 13億4,852万5千円

執行率 25.9%

昨年同様の執行率 35.5%

元年度4月～9月に入ったお金

(9月30日現在)



予算現計 51億9,750万8千円
収入済額 22億9,892万7千円
収入率44.2%

昨年同様の収入率 52.6%

一般会計予算

執行率は25・9パーセント

平成元年度・上半期

一般会計

平成元年度当初予算額は、四十六億一千四百万円、上半期五回(五億八千三百五十万八千円)の補正を行い、五十一億九千七百五十万八千円となっています。

収入済額は二十二億九千八百九十二万七千五百三十三円(収入率44・2%)で、支出済額は十三億四千八百五十二万五千円(執行率25・9%)となっています。

町民の税負担は、一世帯当たり二十万二千六百六十三円、一人当たり七万二千七百五十九円となります。

二十億五千四百八十七万三千円

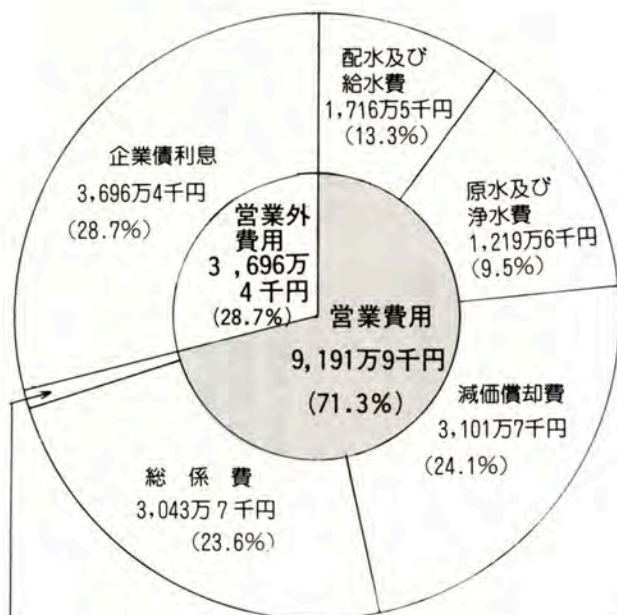
普通建設事業費

投資的経費の内訳は、普通建設事業費二十億五千四百八十七万三千円(39・5%)、失業対策事業費七億八千八百一十一万一千円(0・2%)、災害復旧事業費一千四百六十三万五千円(0・3%)で、予算に占める割合は40・0%となります。

町債(町の借金)は、63年度末は三十九億七千九百二十万七千円で、今年度借入予定額は四億九千二百四十万円、一方、今年度償還額は二億八百六十六万六千円で、元年度末では四十二億六千三百萬一千円になる見込みです。

町の標準財政規模三十二億二千九百二十四万三千円の一三二・〇割に当たり、町民一人当たり十八万三千五百七十六円となります。

▽水道事業費用(上半期) 1億2,888万3千円



- ・受託工事費 6万4千円 (-)
- ・その他の営業費用 1万1千円 (-)
- ・資産減耗費 5万円 (-)
- ・消費税 97万9千円(0.8%)



にぎわった東京加治木会

最後に、住みよいふる里づくりにお知恵を拝借したい、遠慮なくご意見を下さい、との注文など、町民を囲んでのふるさと談義が、時を忘れて夕暮まで尽きませんでした。

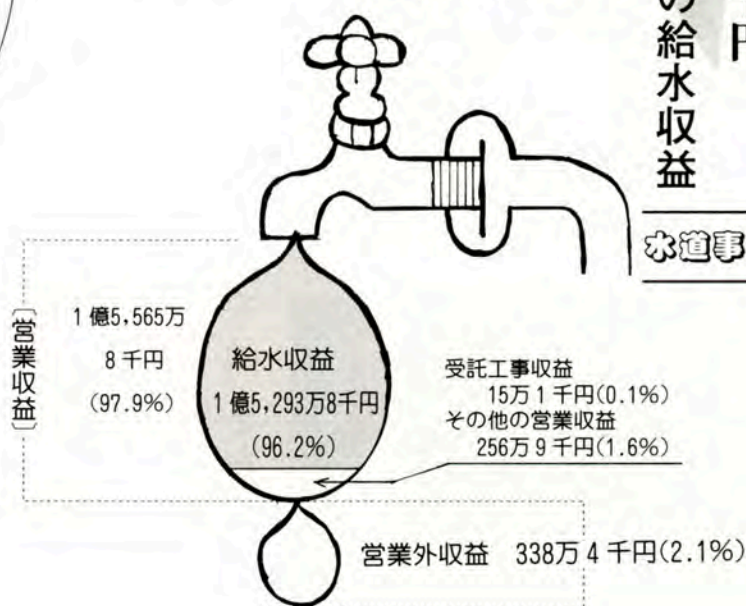
(於里出身 宅岐健志)

水道事業会計の上半期(四月から九月)の状況を見ると、水道事業収益は一億五千九百四十二千円(昨年同期・一億五千二百二十五万一千円)で、水道事業費用は一億二千八百八十八万三千円(昨年同期・一億二千八百十五万一千円)となっています。

事業収益のうち、給水収益は一億五千二百九十三万八千円(昨年同期・一億四千六百七十四万八千円)で、収益の96・2%を占めており、昨年同期と比べ六百十九万円(4・2%)増加しています。

▽水道事業収益(上半期)

1億5,904万2千円

一億五千二百九十三万八千円
平成元年度・上半期の給水収益

水道事業

東京発……
ふるさとへ

「町長の、力強い町づくりに取り組んでいる姿勢に圧倒されました。ふる里の発展を、お江戸から念願します。」

「東京加治木会・総会」の様子を伝えるお便りが、於里御出身の宅岐健志様から届きました。

ありがとうございました。

「大河ドラマが楽しみ」

東京加治木会総会に四十余人

平成元年の東京加治木会(岸野吉会長)が十月二十二日、品川区の三州俱樂部に首都圏在住の四十余人が出席し、宇都宮町長を囲んでふる里の現況、これからの町づくりなど新しい町おこしの抱負を伺い、ふるさと創生の熱意に胸をうたれました。

その中で下水道の整備、龍門滝を中心とした環境整備、教育設備の充実、研究機関の誘致など、これからの計画目標や重点目標が述べられました。さらに加治木の地理的条件からみて、計画目標などの整備に伴い、鹿児島の「ベン」的な役割を目指したい、と主張されました。また、企業や研究機関誘致問題では、広い視野から周辺の市町村と連携し、お互いに伸び行くことが、これからは肝要だ、と強調されました。

来年一月七日からNHKが放映予定の大河ドラマ「翔ぶが如く」(司馬遼太郎原作)で、参勤交代の大名行列の場面に町内の竜門司坂が登場、すでに町民が参加しての撮影(東京加治木会の前日)が行われたとの報告があり「新春早々から楽しみです」とみんな笑顔でした。

議会報告 Ⅱ 第四回臨時会

農産物処理加工施設の契約を締結

第四回町議会臨時会は十一月六日、一日間の会期で開催され「農産物処理加工施設新築工事請負契約締結について」や一般会計補正予算など四つの議案を審議し、可決しました。

〃隈原地区で作られる人參の消費拡大を図ると共に新しい町の特産品を売り出そう」と、町が西別府の丸岡に建設する「農産物処理加工施設の新築工事請負契約」について、鹿児島市の坂本建設㈱と三千七百九十五万五千五百円で、契約を締結することが可決されました。

〃隈原地区で作られる人參の消費拡大を図ると共に新しい町の特産品を売り出そう」と、町が西別府の丸岡に建設する「農産物処理加工施設の新築工事請負契約」について、鹿児島市の坂本建設㈱と三千七百九十五万五千五百円で、契約を締結することが可決されました。

加工施設では、隈原地区で作られる人參を使った「キャロット・ジャム」をはじめ、ジャムを使ったゼリーやドレッシング、ジュース、ケーキなどのほか、漬物や竹の子の水煮など、新しい町の特産品も生み出されることになっています。



農産物処理加工施設（完成予想図）

棕鳩十さんをしのんで 〈第11回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会会長

山口 正

前号で私は、四国・松山市立子規記念博物館のことに触れてわが棕鳩十記念館の未来像についての夢を語りました。

去る十一月十一日という日は一の数字が並ぶという縁起のいい日で、土曜日でもあったせいでしょうか、東京ではさきまの催しがありました。

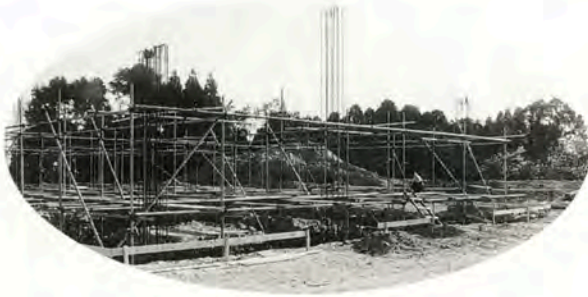
江戸深川の芭蕉庵といえは知らない人はいくらいい有名ですが、数年前に、芭蕉記念館というの出来ていて、子規研究の会というのが第一回総会を兼ねた研究会を、その芭蕉記念館で開くことになっていました。

前回書いたように松山市には子規の記念館もあり、研究会の外に郷土愛の先輩を敬慕する市民たちの楽しい読書会などがあるのですが、東京でも子規を偲ぶ会を起してほしいとの要望を受けて、私が解釈学会の会長と

して音頭取りをしたのでした。さすが、正岡子規ともなれば関心を持つ人が多くて、忽ちに七十八近い会員が出来ました。責任上、私はその会に出席せねばなりません。ところが、私が住んでいる豊島区が、棕さん提唱の親子読書会を、区内の各図書館で実行し続けていて、連絡会を作って十年目の記念の会を持つことになり、私も招待を受けていました。しかも、日時が決まったのを見て、びっくりしました。子規の会と同時刻。

仕方なしに、私は、勤労福祉会館を会場とする親子読書の会の方へ先ず出席して、区長・教育長の挨拶が済んだから、私が十分間だけ棕鳩十先生の読書運動を語り、懇談会には中座して芭蕉記念館へ急ぎ、そこでも、子規の文学と棕さんの文学とに共通する人間愛を語りました。棕さんの「感動は人生の窓を開く」「精一杯今を生きる」の名言で話を結んだのですが、二つとも会場につめかけた方々に感銘を与えたようです。

特に、親子読書会の二百人に近い、教育熱心の人達が私の拙い話に聴き入ってくれたようです。うれしそうな区長さんの見送りを受けながら、改めて、棕文学の素晴らしさを思いました。



建設予定地

一千三十六万八千円を追加 一般会計補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに一千三十六万八千円を追加するもので、一般会計予算の総額は五十二億四千七百五十万三千円となりました。

追加された主なものは、次のとおりです。

▽緊急地方道路整備事業費（小山田線）八百二十万円
▽緊急地方道路整備事業費（木田本通線）百四十万円
▽共同調理場費四十七万二千円



整備が進む木田本通線

第一回「全国滝サミット」に参加

滝をどう観光に生かせばよい
か“美しい水の保全策は”など
を討議する第一回全国滝サミット



ごみの問題などを討議

は、十一月九日と十日の二日間、北海道の島牧村から加治木町まで二市十四町二村が参加して、三重県名張市で開催されました。

滝サミットでは、現代旅行研究所の竹村節子さんが「滝の観光利用について」と題し「滝の開発は自然が相手。長期的な視点で活性化を図ることが使命です。最近はお金を捨てる、観光客の質が悪くなっています。町の法律のようなものを作り、観光客にも要求する。客を選ぶことも必要なのではないでしょうか」と講演しました。二日目は、きれいな水の保全と観光客が残すごみの問題などについて熱心な討議が行われた後、サミット宣言が採択されました。

月三十枚の紙。おむつを支給

町では今年度から、寝たきりのお年寄りと身体障害者に「紙おむつ」を支給することになり十一月十七日、支給式が福祉センターで行われました。

支給式では、宇都宮町人町長が「家庭で介護される人たちのお役にたてばと、この事業に取り組むことにいたしました。多くの方に御利用いただきたいと思います」とあいさつした後、安田サダさんを介護されている岩原西の福田郁雄さんに、紙おむつを手渡しました。



福田さんに紙おむつを

町では今年度から、寝たきりのお年寄りと身体障害者に「紙おむつ」を支給することになり十一月十七日、支給式が福祉センターで行われました。

お問い合わせは、町福祉課へ。

加治木町文化祭



地区芸術祭にも参加「翔ぶが如く」

宮園知笑さん(三歳)も熱演

町文化祭

芸術の秋……。文化協会主催の第二十三回町文化祭が十一月二日と三日の二日間、町福祉センターで開催されました。

会場には、今年から加わったオモトをはじめ写真や書芸、生花、短歌、盆栽、洋画、俳句、編み物、日本画など会員のすばらしい作品が展示され、訪れたおおぜいの人たちは、一つひとつの作品に熱心に見入っていました。また、和室では茶会も開かれ「御手前」に親

しむ姿も見られました。

芸能発表では、三味線や詩吟、日舞などで構成される地区芸術祭参加作品「翔ぶが如く」をはじめ日舞、吟道、民謡、琴、三味線、3B体操、尺八、コーラスなど四十八のすばらしい芸能が披露され六百人余りの観衆を魅了。かわいらしい宮園知笑さん(三歳)と前田奈津美さん(四歳)、小浜洋子さん(五歳)の踊りには、ひとときわ高い拍手が沸いていました。

“うまい米づくり”を推進しよう

にぎわった町農業祭

町農業祭は、町営体育館などを会場に十一月十九日開催され、おおぜいの人でにぎわいました。

体育館で開催された式典では、

加治木農業改良普及所の神蘭所長が「21世紀に向けて、基盤整備を推進するとともに、早期米(コシヒカリ)の大幅な拡大・定着を図り「うまい米づくり」を推進しよう」とこれからの農業生産のあり方についての提言を行いました。

この後、農林畜産物品評会の優秀作品や小・中学生が書いた作文とポスターの表彰が行われ、金賞に輝いた柁城小学校の川野積貴さんが作文を朗読。また、記念行事では、錦江小学校の金管バンドの

演奏や中福良集落のひな女踊り、西浦地区の棒踊りなどが次々に披露され、会場から盛んな拍手が沸いていました。

グラウンドでは、加治木下駄の制作実演や、野菜・海産物・キャロットジャムなどの即売、もちつき大会、木工教室、鶏のつかみどり大会などの行事が行われ、記念抽選会では内村一男さんと額川文子さんが、特等の「自転車」を引き当て、大喜びしていました。

作文とポスターの入賞者は、次のとおりです。(敬称略)

金賞 川野積貴(柁城小五年)
銀賞 辻 徳彦(柁城小四年)

銅賞 岩下朝尚(錦江小一年)
〔ポスターコンクール〕
金賞 飯田裕也(錦江小六年)
銀賞 井上真太郎(錦江小六年)
銅賞 渋谷友香(錦江小六年)



にぎわった青空市場

●身近な話題やニュースは文書係まで(☎62-2111)

Town news

●まちの話題



カーブミラーもきれいに

網掛川周辺の『クリーン作戦』

「みんなで町をきれいにしよう」と、青少年地域活動に参加している子供たち二十五人余りが十一月十八日、網掛川周辺の『クリーン作戦』を実施しました。

この日は、午後二時に役場に集合。三班に分かれて、ごみ袋を手に、網掛川沿いを錦江小学校側から加治木小学校の方へ、河川沿いに投げ捨ててある空き缶やごみを拾いながら歩きました。また、大川医院や加治木小学校の前の「ロードミラー」も、はしごを使ってきれいに清掃しました。

章さん(加治木小六年)は「ごみを拾ってみて、最初のうちは、袋いっぱいになるのには時間がかかると思ったが、実際にはすぐに袋いっぱいになってしまった。自分たちの住んでいる町はすごく汚れているものだ、と思った」と、また、永野由香さん(錦江小六年)は「私は、清掃・美化活動に出るのは、ちょっといやでした。空き缶は、一箱で五つの袋もたまつたし、ちょっとはきれいになったと思います。もっともっと町をきれいにしたいです。参加してよかった」と感想を話してくれました。



袋はたちまちいっぱい



勢いよく放水

『火災』に備える

「火災に備えて、器具の扱い方を覚えよう」と十一月二十六日、高井田自治会(津崎チエ子自治会

長、二百十三世帯)で、初めての防火訓練が行われました。

これは、今年三月、地区内に六

初めての防火訓練を

高井田自治会

つの消防器具格納庫を整備したことから「火災の時、だれでも使えるように」と、地区ぐるみで実施したもので、この日は、立山経弘さんからホースの接続の仕方や筒先の構え方などの説明を聞いた後、実際に、高井田保育園前の消火栓を使い、三人一組になって、ホースをつないで放水する訓練が行われました。

防火訓練では、男性に混じって英恵美子さんや上枝笑さん、日高ゆみ子さんらもホースを握り、真剣な表情で練習に取り組んでいました。



火事だ！……



足踏み脱穀機で収穫

竜門小学校の

五年生

“稲作”を体験とおして学習しようと、竜門小学校の五年生十三人が学校内の田んぼで育てている稲が実り、十一月五日足踏み脱穀機や千歯こきなどを使って昔ながらの脱穀作業が行われました。中には、機械に引きずり込まれそうになる子供もあり、手伝いのお母さん方は、ハラハラ。子供たちは、初めて使う機械にとまどいながらも、足踏み脱穀機のペダルを交替で踏み、百二十キ余りのもち米を収穫しました。十二月にはもちつき大会が行われる予定です。



飾られた“ふれあい太郎号”

県道脇にシュロで作った馬を

「ばい捨てはやめましょう」
西元五月会が設置

「来年は午年」……羽ばたけ

「ふれあい五月太郎号」。

小山田の県道脇の一角に、シュロで作った等身大の“馬”と空き缶の社が十一月十九日、西元五月会員十三人によって設置され、通る人の目を引いています。

この馬は、西元五月会（芝原年男会長、会員三十人）が「空き缶のばい捨てはやめましょう」との願いを込めて、地区の子供たちやお年寄りなどの協力を得て製作した“みこし”で、今年の夏祭りでは『金賞』に輝きました。馬には“空き缶の首飾り”も付



空き缶を使った社も

けられており、芝原会長は「五月会が発足して六年。この馬と同じように会も羽ばたきたいですね。ドライバーの皆さん。空き缶は、小山田には捨てないでネ。馬がにらんでいますヨ」と話されました。

こいの稚魚百五十キを放流

網掛川内水面漁協

“釣り人に楽しんでもらおう”と、網掛川内水面漁協（東 一男組合長、組合員六十八人）では今年も十一月二十八日、龍門滝と千鳥橋の二か所で、こいの稚魚百五十キを放流しました。

この日放流された稚魚は、指宿から取り寄せたもので、体長七〜八センチの稚魚百二十キと体長二十五センチ余りのもの三十キが、龍門滝と千鳥橋に放流されました。来年が楽しみですネ。



大きくなれヨー

ちよっと小耳に



小・中学生の作品八百点を展示

第三十一回 町 美 術 展

小・中学生や一般の習字や図画、工芸、写真など八百点余りを展示し「町美術展」が十一月十日から十二日まで、福祉センターで開催され、会場を訪れた人たちは、一つ一つの作品に熱心に見入っていました。

入賞作品の表彰式は十一日、役場会議室で行われ、乙須教育長らから入賞者に表彰状が手渡されました。受賞者は、次のかたがたです。(敬称略)

〔町長賞〕
毛筆 若松浩太郎 (柁城小四年)
工作 地久里一人 (竜門小五年)
〔町議会議長賞〕
毛筆 村橋あずさ (加中二年)
工作 古寺大悟 (柁城小四年)
〔町教育委員会賞〕
毛筆 中園寛子 (加中三年)
工芸 岡山かおり (加中二年)
〔南日本新聞社賞〕
毛筆 政 文子 (柁城小六年)
絵画 隈原圭子 (加中二年)
〔町商工会長賞〕
毛筆 若松志保 (加中一年)
工作 川崎要次 (柁城小六年)
〔町農協長賞〕

毛筆 中園貴久 (柁城小三年)
絵画 木場領樹 (竜門小一年)
〔南日本書道会賞〕
硬筆 湯川晃代 (錦江小一年)
毛筆 伊藤 令 (柁城小五年)
硬筆 稲留里一子 (錦江小二年)
〔始良地区美育協会賞〕
絵画 有島数馬 (竜門小二年)
絵画 福留理恵 (竜門小三年)
デザイン 日高洋士 (加中三年)
デザイン 関之尾忍 (加治木養護

中学二年)

三百六十九点の応募が

郷土教育絵画展

町美術展と同時に開催された郷土教育絵画展(加治木ロータリークラブ主催)には、小・中学校から三百六十九点の応募があり、十一月十一日役場会議室で表彰式が行われました。

加治木ロータリークラブ会長賞の受賞者は、次のかたがたです。(敬称略)

〔幼児の部〕 いまむら なおき
〔小学校の部〕 内田 真
〔中学校の部〕 穂森 諭



山口健蔵先生の講演



町美展で入賞

史跡や秋の野草を学習

地域ぐるみふれあい事業

「お年寄りと子供のふれあい」を深め、青少年の健全育成を図ろう」と活動を進めている「モデル地区」の交流大会が、垂ノ口と柳田、於里の自治会から八十七人が参加して十一月十九日開催されました。

この日は、柁城小学校から竜門司坂を通り、竜門小学校まで「ふれあい歩こう会」が行われ途中の竜門司坂では、岩元房友さんから竜門司坂の歴史などについて説明を受けました。

竜門小学校では、お年寄りと子供たちが一緒になって、グラウンドゴルフや輪回しなどのレクリエーションを楽しみ、親睦



竜門司坂を歩いて

高齢者の指導者を育成

ときわ木学園が開校

「地域の担い手となる高齢者の指導者を育成しよう」と、十一月二十日「ときわ木学園・始良校」の開校式が、福祉センターで開催されました。

これは、すこやか長寿社会運動推進センターが県内九か所で開催したもので、稲田進さんや小野良光さんなど加治木町の十五人をはじめ、郡内の市町から

五十人が入校されています。この日は、開校式の後、さっそく「社会福祉」と題して山口建蔵先生の講演が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

ときわ木学園は、三月まで十二回開催され、参加者は、「心の健康」や「食生活」、「時事問題」などをテーマに学習を進めてゆくことになっています。

「平和の貴さを伝えたい」

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は十一月十五日、遺族や来賓など百五十人余りが参列して、福祉センターで開催されました。

追悼式では、宇都宮明人町長が「今日の日を機会に、更に心を新たに町民の福祉の向上に万全を期したいと思います。戦没者の御霊が安らかなることをお祈りいたします」と式辞を述べました。

また、遺族代表の新福貢さんが「再び悲惨な思いを繰り返すことのないよう、平和の貴さを後世に伝えたい」と追悼の言葉を述べた後、参列者全員が、祭壇に菊の花をささげ、戦没者の霊を追悼すると共に平和への誓いを新たにしました。



追悼の言葉を述べる新福さん

丹精込めた「菊」を展示

町菊同好会

黄色や白、桃色など色とりどりの大輪菊や盆栽菊など百五十本が、十月二日から六日まで役場中庭の一角に展示され、訪れた人の目を楽しませました。

これは、菊の好きな者どおしが集まって、今年二月に結成された町菊同好会（永吉篤則会長、会員十九人）の会員が、丹精込めて育てたもので、中央が盛り上がり丸く半球状になった「厚物」や管のような花びらをつけた「管物」、黄色や白の小菊を使った「盆栽」などの作品が展示されました。

町菊同好会は、毎月一回、大



みごとな菊に見入る

警精館Bが三位に入賞

第二十二回義弘公奉賛剣道大会

第二十二回義弘公奉賛剣道大会は十一月二十三日、県内外から百三十五チームが参加して、加治木中学校体育館で開催され小学生の部では、警精館Bチー

ムが三位に入賞しました。

結果は、次のとおりです。

〔小学生の部〕▼優勝▽寺山剣道スポーツ少年団A▼二位▽吉野剣道スポーツ少年団A▼三位▽福平剣道スポーツ少年団A・警精館B

〔中学生の部〕▼優勝▽福平中学校A▼二位▽隼人中学校A▼三位▽西陵中学校A・牧之原中学校A

〔高校生の部〕▼優勝▽鹿児島実業A▼二位▽鹿児島実業B▼三位▽鹿児島高専A・城西A

〔一般の部〕▼優勝▽中央警察署島刑務所・八幡剣友会▼二位▽太陽剣友会▼三位▽鹿児島



気合い鋭く…決勝戦



柁城小学校の合奏

日々の学習の成果を披露

小・中学校合同音楽会

日ごろの学習の成果を披露する「小・中学校合同音楽会」が十一月二十四日、加治木小学校体育館で開催されました。

この日は、全員で「里の秋」

を斉唱した後、手作りの腰ミノをつけ、踊りも加えた永原小学校の合奏「南の島のハメハメハ大王」や、全員ハッピー姿で演奏する柁城小学校の「八木節」の合奏、加治木中学校・吹奏楽部

や全国大会でも高い評価を受けた錦江小学校の金管バンドなどの演奏が次々に披露され、曲が終わるたびに会場からは盛んな拍手が沸いていました。

「八木節」で、木のタルを演奏した柁城小学校の富松典子さんは「タルをたたくのは、力がいり大変です。今日はよく出来ました方だと思います」と話していました。

秋の叙勲

勲五等双光旭日章に輝く

岩下秀雄さん(竹下)



岩下秀雄さん

秋の叙勲は十一月三日行われ竹下の岩下秀雄さんが「勲五等双光旭日章」に輝きました。

岩下さんは、昭和二十二年に県庁に入り、加世田土木事務所長や砂防課長、首席工事監査官などを歴任。一貫して土木技術畑を歩いてこられ、昭和五十一年に退職されました。

この間、昭和二十六年からは河川課に勤務されルース台風の災害復旧事業に取り組み、また、昭和三十年からは大島支庁

に勤務。奄美大島復帰後の土木計画の策定などの事業に従事されました。

岩下さんは「隣の村に行くのにも、小舟を使うか山越えをしなればならない奄美大島で、三十年から三年半、道のないところを歩いて行って測量をし、道を作ってきたことが一番印象に残っています。奄美で初めてのトンネルも建設しました。やりがいがありましたヨ」と受賞の喜びを話されました。

県統計協会会長表彰を受賞

福田郁雄さん(岩原西)



表彰状を手に

長年にわたり各種統計調査に従事されている、福田郁雄さん(岩原西)に「県統計協会会長表彰」が贈られました。

福田郁雄さんは、調査員として昭和五十五年の国勢調査をはじめ事業所統計調査や商業統計調査など数多くの調査に熱意と誠意をもって当たられ、その功績が高く評価されたものです。

また、加治木町も「通産大臣表彰」(商業統計調査)と「総務庁長官表彰」(住宅統計調査)を受賞。表彰式は、十一月十六日鹿児島市で開催された県統計大会の席上行われました。

厚生大臣表彰を受賞

竹内親男さん(今町)



竹内親男さん

民生委員・児童委員として二十四年間、地域の福祉向上に尽力されてきた今町の竹内親男さんが、十一月二十二日「厚生大臣表彰」を受賞されました。

竹内親男さんは、民生委員の副総務や総務などを歴任。長年にわたり民生委員・児童委員として職務に精励されてきた功績が高く評価されたものです。

表彰状の伝達式は、二十二日町長室で行われ、宇都宮町長が竹内さんに表彰状を手渡し、その労をねぎらいました。

ございます

二段(一般部)に二人が合格

全国書道検定

第百四十六回全国書道検定(日本教育書道連盟主催)の審査は九月二十日、東京で行われ、北原勲さんらが二段に合格しました。結果は、次のとおりです。

▽一般部(漢字科)

二段 北原 勲▽坂元英蔵

初段 野上良子

▽教育部(小・中学生)

四段 枝次真理▽古市志信

河原良子▽上野希里子

二段 内村由美▽久保平一
松本 綾▽愛下由香里
山本さやか

初段 宮脇明子▽久保紘史郎
杉田雄一郎▽神蘭小百
合▽稲留里一子

一段 和田美恵子▽山元美和

二級 杉田 浩

四級 吉川千尋▽山本恭子

五級 久保征彦▽山元智美

六級 轟木麻利▽和田沙織

莊厳で力強い滝の姿に、先人は自然への畏怖とともに、親しみを持って滝を神と崇めてきました。それは、とりもなおさず、我々日本人の自然観を形成し、ひいては自然と人間との一体性を実感できる修練の場でもありました。

このたび、人と自然とのふれあいと、地域の自然保護に対する理解を深めることを目的に「日本の滝一〇〇選」が募集されることになりました。

加治木町としても、数年前から

役場総務課 文書係
62-2111 内線265

「龍門滝」を全国に売り出そう

「日本の滝一〇〇選」に御応募を

観光地として開発・整備を進めている「龍門滝」を全国に売り出す絶好の機会として、ぜひ、選定していただけるよう働きかけていきたいと考えます。

応募は「官製ハガキ」で行うことになっています。

ぜひ、あなたも御応募をお願いいたします。なお、官製ハガキは役場総務課で準備しています。

▽問い合わせ先

表 面

切手	6	0	2		
京都市上京区西陣局 私書箱九〇号 「日本の滝一〇〇選」事務局 御 中					

裏 面

〔滝の名称〕	龍 門 滝
〔滝の所在地〕	鹿児島県姶良郡加治木町
〔氏 名〕	加治木太郎
〔住 所〕	鹿児島県姶良郡加治木町本町二五三
〔性 別〕	男 性
〔職 業〕	会 社 員
〔電話番号〕	〇九五(六二)二二二

募集締切………平成二年一月末日
発 表………平成二年四月中旬(予定)



感謝状を受ける藤井組合長

組合設立以来、組合員一致協力し、県税の納期内納付に尽力されている下新道納税貯蓄組合(藤井節夫代表、組合員二十五人)に、加治木総務事務所長から「納税功労者感謝状」が贈られました。

これは、下新道納税貯蓄組合が納税思想の高揚を図り、自主納税制度の確立に貢献してきた功績が高く評価されたものです。贈呈式は、十一月十七日加治木合同庁舎で行われ、竹之井総務事務所長から感謝状が藤井組合長に手渡されました。

栄えある

受賞おめでとう



水 流 清 子 さん

水流清子さんに感謝状

自衛官募集業務に貢献

自衛官の募集事務に尽力された水流清子さんに十一月一日、自衛隊鹿児島地方連絡部長から感謝状が贈られました。

水流清子さんは、町の自衛官募集事務担当者として、昭和六十一年から六十四年まで従事され、組織的募集基盤を確立するとともに、地方連絡部の募集業務の円滑な推進に貢献された功績が高く評価されたものです。贈呈式は、鹿児島市で開催された自衛隊創立・鹿児島地方連絡部創立三十五周年記念式典の席上行われました。

ほっと情報

年末・年始の交通安全運動

12月15日(金)～1月5日(金)

全国の交通事故による死者の数は、十三年ぶりに一万人を超えた昨年を上回ることが確実となり十一月二十八日、国にあつては「交通事故非常事態宣言」を発令しました。

町内においても、今年は、交通事故が数多く発生し、誠に厳しい状況にあります。

これから「年末・年始」を迎え一段と交通量が増加し、交通事故の多発が予想されます。

飲酒運転やスピードの出しすぎによる事故の防止、高齢者の交通安全の確保などの周知・徹底が望まれるところです。

これ以上、交通事故の犠牲者を増やさないために、家族一人一人がしっかりと気を引き締め、通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

「迎えましょう」

無事故で年末

笑顔で年始

毎月20日は

「交通事故ゼロの日」

毎月20日は「交通安全は家庭から」をテーマに、各御家庭で交通安全について話し合いをしていた大切な日です。

交通事故は、私たちの周囲で、ひんぱんに見受けられる時代となり、町民一人ひとりが、しっかりと交通安全に対する姿勢が必要となってきました。

「交通事故ゼロの日」をきつ

けとして、あなたの御家庭や近所から交通事故をなくしましょう。

※交通安全も「心」が重要です。

○交通ルールを守ろうという「心」がありますか。

○他人に対する思いやりの「心」がありますか。

○危険を予知して、場合によっては優先権を捨てる「心」の余裕がありますか。

無料 人権法律相談

鹿児島県地方公務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

宮城俊治 反土一五四七

蔵王団地四七―二B―一四

(☎ 63―3787)

中摩多美子 反土二七五六

(☎ 62―2768)

竹下利行 木田一四九

(☎ 63―1818)

デイ・サービス事業の

希望者を募集

町では、日常生活の訓練や入浴、食事などのサービスを提供するデイ・サービス事業の利用者を募集しています。

御希望の方は、次の要領で申し込んで下さい。

▽申し込み方法

役場福祉課に、所定の申請書があります。

▽申し込み先(問い合わせ先)

役場福祉課 老人障害係

(☎ 62―2111)

■申請者には、決定の結果をお知らせします。

定員を百五十人から二百人と予定していますので、早めにお申し込み下さい。

体の虚弱の程度により医者の診断書が必要な場合があります。

皆様と声をあわせて

政治倫理の確立を

このたび鹿児島県議会では「鹿児島県議会議員政治倫理要綱」を定め、次の事項を遵守いたします。

一、政治的・道義的批判を受けるおそれのある寄付等は受けません。

二、次に掲げる「虚礼は廃止」します。

○地方公共団体・各種団体等が行う大会・祭等の行事に対する金品の贈与・祝電等

○新聞・雑誌・各種団体への賛助広告及び年賀状・暑中(残暑)見舞状・時候の挨拶状

○冠婚葬祭及び各種慶弔・行事等に対する電報・祝儀・香典・供花や開店・新築祝等

○中元や歳暮並びに餞別等

「年賀状」等の虚礼廃止に

御協力を

このたび町三役(町長、助役、教育長)は、町政のより一層の公正な遂行を期するため「年賀状」等の虚礼廃止に取り組むことといたしました。

町議会においては、申し合わせにより虚礼廃止に取り組まれており、また、先の県議会においても「鹿児島県議会議員政治倫理要綱」

が定められました。

三、立候補予定者に対しても、これらを守るよう協力を求めます。「贈らない、求めない、受けとらない」の政治浄化運動を県民の皆様と進めてまいります。

御理解と御協力をお願いいたします。

鹿児島県議会

商工会商品券の御利用を

商工会では、町内買物運動の一環として、全店共通の商品券を発行しています。

商品券
(加治木町商工会加盟店全店通用)
¥500円也
100円 50円
加治木町商工会

※商工会会員の店すべてで買い物ができます。
※贈答品、記念品、賞品等に御利用ください。



竜門句会



秋うらら園長混る縄電車

山鳩の巣籠り幾日椿の宴

白尾 澄子

返り花ほころふほとり歌碑除幕

高木 正男

月光の遍し団地千の窓

加藤 白柳

猪の道猪の高さに幹剥けて

川崎 黒兎

蔵紅葉葉色をすすむ櫓の音

神村 洋子

落葉踏み城址のしじま乱しけり

内田美津代

紫苑咲く少女雑誌に夢見し日

竹山 洋子

すれちがふ船頭の子のふかし半

恒吉 斗南

秋の風邪悔るまじく臥しゐたり

鶴田 耕

マンションの塙と背くらべ泡立草

柳田 稔

群生の芒の原に硫黄ふく

佐々木かすみ

暮らしのラポイント

お正月に欠かせないのが「おせち料理」と「おもち」。

おせち料理は、塗り重箱に詰めます。

重箱は上段から「一の重」「二の重」「三の重」と呼ばれます。

「一の重」には、新年を祝ってお屠蘇を飲む子や黒豆、田作りなどのほかお雑煮と一緒に食べる「口取り」のきんとん、かまぼこなどを詰めます。

「二の重」「三の重」には、くわい、やつがしらなどの煮物、鯛や鰯などの焼き物、なますなどの酢の物を中心に詰

めまます。

おせち料理は日持ちがよく、日本人の食生活の知恵と美意識が結びついた料理です。

おもちは、お正月につきものです。関西では一個一個を丸めた丸いもちが普通ですが、関東

正月の料理

おもちにカビを寄せつけない

カビを抑える働きがあります。

小皿をおちよこに、大きじ二杯分くらい練りカラシを入れ和紙でフタをして、もち箱に入れておくのもカビ防止の工夫の一つ。

のしもちを切るときは、ぬれ



◇おしらせ◇

「薬草」のシリーズはしばらくお休みします。御了承下さい。

一句一まっつー

兼題『半端』（はんぱ） 榊 牛尾先生 選

天 親ん夢 半端いなけつ 子あ葉立つ 小浜礼香

地 利口な大工 造作か半端で 次家ぎ掛つ 長重天玄

人 半端布 安価で仕立てた 子供ん服 福永さつき

唱 そいが一番 よか方法じやが

▼席題『考げ』（かんげ） 榊 牛尾先生 選

天 考げんね 置場も無とに つばを貰つ 市成早乙女

地 考げ事つ 女房よつか 可愛ぜよなあんべ 薬丸照女

人 考げ 多か時か仕事ちや手え着かじ 解決せんて 鳥居桔梗

唱 取越し苦勞じや 我がで考げち 子ん勉強 教つかすもども 我じや分らじ

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

1月の日曜在宅医

※診療時間は、午前9時～午後5時まで（原則として）

※当日の往診並びに緊急以外の受診は、御遠慮下さい。

在宅医	住所	☎
1日 大医病院	本町	⑥3 2 2 9 1
2日 加治木温泉病院	木田	⑥2 0 0 0 1
3日		
7日 玉利医院	本町	⑥2 2 3 2 8
14日 加治木整形外科	港町	⑥2 3 7 1 1
15日 松元医院	溝辺町	⑤9 2 8 2 3
21日 佐藤医院	溝辺町	⑤9 2 6 0 7
28日 壺岐医院	諏訪町	⑥2 2 2 2 2



加治木町役場は4月から 第2・第4土曜日は 休みです

加治木町役場は四月から、第二・第四土曜日が休みとなります。御協力をお願いいたします。

◆休みとなる所

◆なお、次の所は、今までどおり業務を行います。

小・中学校▽町立幼稚園
町立保育所▽町立図書館

(郷土館を含む。)

●「出生届」「死亡届」「婚姻届」などの受付や、「埋葬許可証」の発行は、従来どおり「日直」が行います。

●今まで収入役室で納めていた税金、保育料、住宅使用料などの納期が「第二・第四土曜日」に当たるときは、月曜日に納入期限が変更されます。

※詳しくは、総務課にお問い合わせ下さい。

電話級アマチュア無線技師

養成講習会を開催

(社)日本アマチュア無線連盟主催の「電話級アマチュア無線技師養成講習会」が、次のとおり開催されます。御希望の方は、早めにお申込み下さい。

○期間 平成2年1月29日から2月9日まで

○時間 午後6時30分から午後9時45分
(日曜日は除く。)

○申込先 CQステーション国分大田まで………
(☎ 45-4961)

(初日は午後6時開講)

○受講料 一万九千円

○定員 七十人

○会場 始良町中央公民館

○締切 平成2年1月10日

(但し、定員になりましたら締め切ります。)

○申込先 CQステーション国分大田まで………

(☎ 45-4961)

入園願書を受付

町立幼稚園

町立幼稚園の平成二年度の入園願書を、次のとおり受け付けます。

▽入園願書及び案内書の配付

12月13日(水)から各幼稚園で配付します。

▽願書の受付期間

平成2年1月8日(月)から1月17日(水)午後4時まで

▽願書の提出場所

●錦江小学校区及び

加治木小学校区(新中、西ノ原、楠園、弥勒、中福良東、中福良後、上木田、小島、赤坂、原ノ門、中央)は………錦江幼稚園

●それ以外は………加治木幼稚園

▽募集園児数

加治木幼稚園………百人程度

錦江幼稚園………五十人程度

▽応募資格

町内に居住し、昼間家庭に保護者がいる、健康な四歳児と五歳児

●四歳児………昭和60年4月2日から61年4月1日までの出生児

●五歳児………昭和59年4月2日から60年4月1日までの出生児

▽選考

願書の締め切り後、各幼稚園で1月24日(水)に選考を行います。

(方法と時刻は、申込者全員に各幼稚園から通知します。)

▽問い合わせ先

加治木幼稚園 ☎ 62-2502

錦江幼稚園 ☎ 63-2038

うぶ声



出生児

保護者

自治会

脇 愛美

米森 賢志

下脇田 翔平

東村 雄基

佐藤 あさひ

東井上 知美

立元 翔悟

若松 左知世

南橋 翔太

日高 健太

園田 裕太

忠行

博文

睦

成人

晴章

至

康弘

繁男

賢一

一美

慎一

布越

東誠訪

原ノ門

萩原

東誠訪

新中

西塩入中

岩原東

原ノ門

赤坂

赤坂

赤坂

竹下 宙志

奥田 瞳

杉田 裕哉

田代 直也

濱田 翔吾

大工園 幸子

石原 千聖

山本 崇義

山本 誠

江口 団地

▽十一月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

記事訂正とおわび

先月号の「うぶ声」の記事中、誤りがありました。深くおわびし次のとおり訂正します。

誤 有村 佳浩

正 有村 佳浩

英行 東塩入

英行 東塩入

英行 東塩入

堤水流 中村ヒロ子(夫和男七)

二万円

浜村 野間一美(母フチエ八)

二万円

吉原 恒吉隆志(母キクエ八)

一万円

隼人町 飯屋岩夫(母 マサ八)

三万円

小陣 井之上司(母ハツエ八)

三万円

岩原西 村岡節男(妻 和 三)

五万円

吉原 柳田吉次(妻シヅエ七)

二万円

須崎 郡山道子(夫 和弘五)

二万円

高井田 松下 博

(伯母 福永ミトク八)

三万円

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福をお祈りいたします。(内は故人)

町社会福祉協議会へ

二万円

下新道 東キヨ(長男 勝巳五)

二万円

垂ノ口 東 房子(夫 良徳八)

十万円

吉原 柳田吉次(妻シヅエ七)

二万円

須崎 郡山道子(夫 和弘五)

二万円

高井田 松下 博

(伯母 福永ミトク八)

三万円

原ノ門

春日 団地

原ノ門

須崎

吉原

於里

上木田

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地

江口 団地